

令和2年度第1回滝沢市社会教育委員会議（顛末書）

- 1 件 名 令和2年度第1回滝沢市社会教育委員会議  
 2 日 時 令和2年10月15日（木）午前10時から正午まで  
 3 場 所 滝沢市役所2階201・202会議室  
 4 出席委員

委員14人のうち12人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

N o	氏名	役職	所属など	出欠
1	嶋野 重行	議長	盛岡大学短期大学部 教授	○
2	村上 四郎	副議長	滝沢市陸上競技協会理事	○
3	市村 康之	委員	滝沢小中学校長会監事	○
4	柳橋 民治	委員	滝沢市自治会連合会副会長	○
5	土井尻たき古	委員	滝沢市地域婦人協議会副会長	○
6	主濱 恵悦	委員	滝沢市子ども会育成連合会長	○
7	吉田 友彦	委員	滝沢市PTA連絡協議会長	○
8	佐々木昭司	委員	滝沢市芸術文化協会副会長	—
9	切金 一夫	委員	滝沢市少年補導員連絡会長	○
10	小野 保	委員	国立岩手山青少年交流の家所長	○
11	渡辺 炎如	委員	滝沢市商工会青年部副部長	○
12	大畑佳代子	委員	滝沢市国際交流協会 事務局長	○
13	小島 勝子	委員	滝沢市レクリエーション協会会長	○
14	菅野 道生	委員	岩手県立大学 社会福祉学部 准教授	—

5 出席職員

N o	氏名	所属・役職など	担当分野
1	熊谷 雅英	教育長	—
2	佐藤 勝之	教育次長	—
3	朝岡 将人	生涯学習スポーツ課長	—
4	佐々木澄子	文化振興課長（図書館長・埋蔵文化財センター所長）	—
5	横澤美保子	文化振興課 総括主査	図書館
6	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 総括主査	文化財
7	細川 健一	生涯学習スポーツ課 主任主査	生涯学習 社会教育
8	川又 健二	生涯学習スポーツ課 主任主査	スポーツ
9	大井創太郎	文化振興課 主事	文化芸術

## 6 会議内容

- (1) 委嘱状交付
- (2) 開会
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 副議長の選出
- (5) 議事録署名人の任命
- (6) 報告

ア 令和元年度社会教育事業実績について【資料No. 1】

- (7) 協議

イ 令和2年度社会教育事業の実施状況について【資料No. 2】

- (8) 令和2年度社会教育主事講習における講演報告

ア 「学びプランたきざわ」について～生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができる滝沢市の実現を目指して【資料No. 3】

- (9) 閉会

## 7 質疑応答など

- (1) 報告

委員 郷土芸能団体の高齢化や参加児童減少が進んでいますが、かなり盛り返してきました。ですが、郷土芸能団体は、篠木神楽や川前神楽、大沢田植え踊り、駒踊りと僅か4団体しかございません。この2～3年ほど運営の仕方を工夫しており分かりやすい楽しい郷土芸能まつりとなり、素晴らしいです。郷土理解推進事業の受講生減少が続いておりますので、PRにもっと取り組んで受講生増加を図ってほしいです。

事務局 出演団体の皆さんのご尽力により、分かりやすく楽しい郷土芸能まつりとなっているものと捉えております。コロナ禍ではありますが本年度も団体の皆さんと相談しながら盛り上げていこうと考えております。

郷土理解推進事業は、滝沢市の歩みを購入なさった皆さんを対象としたセミナー開催が続き受講生減少となったものと考え、本年度は親子連れを対象に埋蔵文化財センター史跡公園にて「滝沢市の歩み学習講座～きみも滝沢市の虫博士になろう」を開催しました。

- (2) 協議

委員 昨年度から開催され本年度も引き続き開催されたSDGsセミナーですが多文化共生社会の実現に向けて多種多様な課題を解決することの大切さを学ぶ貴重な場となりました。高校生や大学生もたくさん受講し、若い人たちが国際感覚を磨く機会にもなり素晴らしいです。。

委員 旧公民館ホール内の民具保管庫を市民の多くは殆ど存じないと感じています。小学児童用の郷土理解副読本に歴史や郷土芸能などが掲載されており、民具保管庫も含まれています。ぜひ、保管庫内に写真展示を行うなどしながら小学4年生の社会科見学コースに加えてみてほしいです。

社会科副読本ですが、文書表現方法に工夫があっても良かったのではと感じています。今後、改訂版発行の折には、歴史研究に取り組まれている皆さんとも相談していただければと存じます。

近隣自治体にはございますが、滝沢市内には民俗資料館も博物館もございませんので、もしそのようなものがあればと考えております。

事務局 民具保管庫は、旧公民館ホール内床にゴザを敷きブロック毎に民具などを表示・展示しており旧埋蔵文化財センターからの移設も完了しておりますので小学3～4年生などを対象とした社会科見学活用を学校側をお願いしたところであり、大人を対象とした見学活用は今後検討させていただきます。

社会科副読本については学校教育指導課にお伝えさせていただきます。

委員 先日、安代地区の民俗資料館に行きました。小さいですが、とても充実して楽しかったです。滝沢市にもあればと感じましたし、郷土理解の推進にも役立つと思います。

先日、函館市に行った折、カワシンジュガイについて学ぶ機会があり縄文人やアイヌ人などとの関係に興味を持ちました。滝沢市内にカワシンジュガイが生息していることは珍しいことなのでしょうか。

事務局 アイヌ人は酢漬けにして食べていますが本州の人は食べていません。また、縄文時代から食べているとの記録もありますし、名前の如く小さいですが、真珠も形成されます。レッドデータブックに記載されていますが非常に珍しい生物とされています。他の市町村には全く生息していませんが滝沢市内には多く生息しています。県内では岩泉町と野田村が業者に乱獲され保護するために指定文化財に登録しています。そのような経緯もあり、文化財調査委員の皆さんからのご提言を受けて同登録に向けて動いておりました。

滝沢市は、全国的にもかなり貴重な生息域とされています。

事務局 旧公民館ホール内の民具保管庫ですが約40年以上経ち老朽化していますが、まだ活用はできます。ただ、現時点では民俗資料館と言うよりも民具保管庫としての見学活用を考えていければと思います。

委員 大釜の旧岩手女子看護短期大学の校舎はそのままとなっており、民具や農具などの資料館として活用できればと思います。

事務局 岩手女子看護短期大学は矢巾町の岩手医科大学と統合されました。その後の活用ですが、他の法人の所有物であり市に対して何らかの打診は特にはございません。

旧民具保管庫から移設完了し旧公民館を民具保管庫として3年ほどかけてようやく整備し小学生を対象とした見学活用を目指しているところです。民俗資料館新設は難しいものと捉えておりますが、パネル展示を行うなど工夫の余地はあるものとも考えており、市民の皆さんを対象とした見学活用については今後検討させていただきます。

### (3) 令和2年度社会教育主事講習における講演報告

・特になし